

回復支援看護学演習

4 単位

Exercise in advanced rehabilitation nursing

田村 綾子・教授 / 保健学専攻, 市原 多香子・准教授 / 保健学専攻

【授業目的】 在院日数が短縮化される動きのなかで、療養回復支援が必要な患者への支援技術および評価方法看護介入に関する文献を精読し、確信方略を探索する。

【キーワード】 回復支援看護、文献精読、研究適応の討議

【到達目標】 在院日数が短縮化される動きのなかで、療養回復支援が必要な対象者の健康上の問題や課題と、それに対する看護介入に関する文献を精読し、研究への適応について討議する。

【授業計画】

1. オリエンテーション
2. 回復支援の必要な人の様々な時期とそれに対応した支援技術と評価方法 (文献検討その1)
3. 回復支援の必要な人の様々な時期とそれに対応した支援技術と評価方法 (文献検討その2)
4. 回復支援の必要な人の様々な時期とそれに対応した支援技術と評価方法 (文献検討その3)
5. 回復支援の必要な人の様々な時期とそれに対応した支援技術と評価方法 (文献検討その4)
6. 回復支援の必要な人の様々な時期とそれに対応した支援技術と評価方法 (文献検討その5)
7. 回復支援の必要な人の様々な時期とそれに対応した支援技術と評価方法 (文献検討その6)
8. 回復支援の必要な人の様々な時期とそれに対応した支援技術と評価方法 (文献検討その7)
9. 回復支援の必要な人の支援技術と評価方法の研究計画立案 (演習1)
10. 回復支援の必要な人の支援技術と評価方法の研究計画立案 (演習2)
11. 回復支援の必要な人の支援技術と評価方法の研究計画立案 (演習3)
12. 回復支援の必要な人の支援技術と評価方法の研究計画立案 (演習4)
13. 回復支援の必要な人の支援技術と評価方法の研究計画立案 (演習5)
14. 回復支援の必要な人の支援技術と評価方法の研究計画立案 (演習6)
15. 回復支援の必要な人の支援技術と評価方法の研究計画立案 (演習7)
16. まとめ

【成績評価】 授業への主体的参加の程度とレポートから評価する

【教科書】 特に使用しない

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216956>

【連絡先】

⇒ 田村 (088-633-9036, tamura@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 市原 (088-633-9038, ichihara@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL